

八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。 **こっこめ通信**

02
2004

「植物たちの冬の顔」号

不安定な天候で始まった2004年。1月上旬には、雹（ひょう）や霰（あられ）が降る日が多く、毎日のように雷も鳴っていました。そんな天候も下旬頃には落ち着き、春を思わせるような暖かな日もありました。

公園内のヤブツバキの花にはメジロが蜜を吸いに集まり、アロエの花にはヒヨドリの姿も見られます。食事の鳥たちは、警戒心が薄いのか、じっくり観察できますね。

さて今月は、「春を待つ植物たちの顔」と「島の山菜」のお話です。

冬の顔・あれこれ



シチウタラノキ



オオムラサキシキブ



アカメガシワ



ハゼノキ

冬の「かお」はいろいろ
葉の落ちた後にできる「かお」
暖かくなるのをじっと待つ「かお」
みんな違った「かお」がある
せあ、いろんな「かお」を探しに行こう！



カラスザンショウ



オオシマザクラ



イヌビワ



シマクサギ

「アカコッコ」とは日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物にも指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

これから食べたい春の山菜

山菜とは、食用とされる草のこと。現在のように栽培したものを野菜、野山などで採れるものを山菜と呼ぶようになったのは、江戸時代からだそうです。

八丈島でもおいしい山菜はたくさんあります。しかし、八丈島は国立公園の中にあり、指定植物に指定されているものは特別地域では採集することはできませんので注意が必要です。(普通地域では採集できます)

また、山菜採りにも最低限守らなければいけないルールがあります。

1. 根こそぎ採らないこと。(食べる分だけ採りましょう。)
2. 芽は全て採らずに必ず残すこと。
3. 土地の所有者には許可を得ること。

下の表は、ビジターセンター関係者が「食べる」または「食べたことのある」山菜です。アシタバは山菜というよりも、畑で作っているの、野菜と言ったほうが良いかもしれませんね。

もちろんこのほかにも、島の中にはたくさんの食べられる山菜があります。今年は自然の恵みで春を感じるのもいいですね。秋には実りの山菜もたくさんありますよ。



代表的な島の山菜		食べる場所	食べ方
アブラナ科	オランダガラシ (クレソン)	若い莖葉	サラダ・和えもの
アブラナ科	タネツケバナ	若い葉	和えもの・お浸し
イネ科	メダケ	若い莖	茹でて味噌を付けて
ウコギ科	シチウトウタラノキ	新芽	天ぷら
キク科	アザミ類	若い葉	ムギ雑炊の中に
キク科	ツワブキ	若い葉や莖	きやらぶき
キク科	フキ (フキノトウ)	花芽・莖	天ぷら・フキ味噌・きやらぶき
キク科	ヨメナ	若芽	天ぷら・ヨメナ飯
キク科	ヨモギ	若芽	天ぷら・草団子
スミレ科	スミレ類 (シチトウスミレ・アツバスミレ)	花	エディブルフラワー*
セリ科	アシタバ	若芽・莖	天ぷら・お浸し・和え物
セリ科	ミツバ	葉	和えもの・汁の実
タデ科	イタドリ	若いタケノコ状の莖	そのまま
バラ科	キイチゴ類 (ハチジョウクサイチゴ・モミジイチゴ カジイチゴ・ハチジョウイチゴ)	実	ジャム・そのまま
ユキノシタ科	イズノシマダイモンジソウ (指定植物)	若い葉	天ぷら
ユリ科	ノビル	鱗莖	酢みそ和え
ゼンマイ科	ゼンマイ	若芽 (裸莖)	煮物など
ウラボシ科	ワラビ	若芽	煮物など
トクサ科	スギナ (ツクシ)	胞子が出る前の若いもの	佃煮・煮浸しなど

*「エディブルフラワー edible flower」とは食べられる花。美味しいというよりは、見た目がきれいでカラーセラピー効果を重視するようです。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 1 月 11 日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 16 年第 1 回）平成 16 年 1 月 11 日（日） 13 時 30 分～ 15 時

参加者・伊藤、永井、金田、菊池（昭）、菊池（まり）、V.C. 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			木本		
1	オニタビラコ	花と実	1	ガクアジサイ	実
2	アシタバ	実	2	トベラ	はじけた実
3	ハチジョウアザミ	花と実	3	オオバヤシャブシ	実
4	ツワブキ	花と実	4	イヌビワ	実
5	ノコンギク	花と実	5	ヤブツバキ	花
6	ヘクソカズラ	熟した実	6	ヤマモモ	蕾
7	カタバミ	花	7	ハチジョウイボタ	熟した実
8	アキノノゲシ	花と実	8	ヒサカキ	蕾
9	ウスベニニガナ	花	9	マサキ	実
10	ヤクシソウ	花と実	10	スダジイ	狂い咲き
11	シチトウスミレ	花	11	シマクサギ	熟した実
12	ハキダメギク	花	12	メダケ	蕾
13	カッコウアザミ	花	13	ヤツデ	花と実
14	シロノセンダングサ	花と実	14	ハゼノキ	紅葉
15	ツメクサ	花	15	マンリョウ	熟した実
16	タネツケバナ	花と実	16	モチノキ	実
17	ヤブマオ	実	17	タイミンタチバナ	蕾
18	ヒメクグ	実	18	オオムラサキシキブ	熟した実
19	ムラサキカタバミ	花			
20	ハチジョウイタドリ	実	鳥		
21	タケダグサ	実	1	チョウゲンボウ♀	上空に 1 羽
22	スズメノカタビラ	花と実	2	メジロ	群れ、地鳴き
23	コナスビ	花	3	シジュウカラ	群れ、地鳴き
24	ハハコグサ	花	4	ヒヨドリ	多数、鳴き声がうるさい
25	オオバコ	実	5	アカコッコ	地鳴きだけ
26	オオアレチノギク	花と実	6	ハシブトガラス	遠くで二、三声
27	イソギク	花	7	キジバト	地上で採餌
28	ベニバナボロギク	花と実			
29	フウトウカズラ	熟した実			
30	アオノクマタケラン	熟した実			
31	チカラシバ	残った実			
32	サルトリイバラ	熟した実			
33	ノゲシ	花			
34	フキ	蕾			
35	キランソウ	花			
36	イワニガナ	花			
37	コセンダングサ	花と実	今回は 56 種の植物と 7 種の野鳥を観察しました。		
38	ノシラン	熟した実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は「オオバヤシャブシ」にスポットを当ててみたいと思います。



オオバヤシャブシ *Alnus sieboldiana*

カバノキ科の落葉小高木。

葉が長卵形または三角状卵形、表面の色は濃緑色で光沢があり無毛。やせた土地でも良く育つため砂防緑化樹として植えられることもあります。

島では「ヘーノキ」と呼び、成長が早いため薪炭として利用していました。

2004 八丈ビジターセンター 2 フ로그램カレンダー

日付の下に書かれている時間は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時間です。
左側が満潮時間、右側が干潮時間です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
1 ガイドウォーク 04:19 06:35 12:23 20:26	2 04:38 09:13 13:51 21:16	3 05:02 10:04 14:50 21:57	4 立春 05:25 10:36 15:35 22:33	5 05:48 11:03 16:15 23:07	6 ○ 06:12 11:30 16:53 23:41	7 ガイドウォーク 06:35 11:58 17:31
8 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 06:59 00:14 18:10 12:29	9 07:23 00:46 18:51 13:03	10 07:47 01:19 19:35 13:39	11 ガイドウォーク 08:11 01:51 20:25 14:19	12 08:34 02:23 21:27 15:07	13 ● 08:58 02:55 23:06 16:08	14 ガイドウォーク 03:28 09:26 17:32
15 ガイドウォーク 02:18 04:22 10:08 19:12	16 04:04 08:05 12:00 20:33	17 04:40 09:44 14:02 21:33	18 05:11 10:25 15:15 22:21	19 雨水 05:39 10:58 16:10 23:02	20 ● 06:05 11:29 16:57 23:39	21 ガイドウォーク 06:29 11:59 17:39
22 ガイドウォーク 06:50 00:11 18:19 12:29	23 07:09 00:40 18:57 13:00	24 07:27 01:06 19:35 13:32	25 07:44 01:30 20:15 14:06	26 08:02 01:52 21:01 14:44	27 08:20 02:12 22:07 15:32	28 ● ガイドウォーク 八丈学講座 「冬鳥を探そう」 08:37 02:25 16:37
29 ガイドウォーク 08:50 18:12			この色の日は 特別行事があります			

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！
2/8（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座 「冬鳥を探そう」

毎月行っている八丈学講座。今回は、島に渡ってくる冬の鳥を観察します。
2/28（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2004.2.1 第33号

開館時間 9:00～16:30 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

（ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます）

編集後記

改めて冬の植物を見ると色々な表情があっておもしろかったです。おかげで冬の葉のない時期でも植物の種類がすこし分かってきました。これから、葉が出てくるとさらに表情が変わってくるからもっと楽しみです。（高）